

特別支援学校

【作業学習】

単元【技能検定に向けた清掃作業】

主体的・対話的で
深い学びのポイント

iPadで撮影する役割を生徒が担うことにより、他者の動きに注目し、改善点を生徒同士で考え、対話を通じて理解が深まる。

ICT活用のポイント

清掃作業の様子を視覚的に振り返ることにより、客観的に自身の活動を確認し、改善点を具体的に理解することができる。

使用する
ICT機器

大型モニター、タブレット端末等

使用するアプリ・
クラウドサービス等

G Suite for Education

クラウド
の活用
☐教材の配布・回収等
 ☐資料等の共有
☒生徒の学習状況の把握
 ☐その他（ ）
本時の
ねらい

作業時の自身の課題を振り返り、改善点について考えることができる。

主な学習活動
(学習場面)

I C Tの活用・留意点等

評価

導入

○作業の流れと
清掃のポイント
を確認する

一斉



清掃の手順やポイントを、大型モニターで提示する。

- ・拡大したり重要な箇所にマークを付けたりする。

ICT機器

指針2



展開

○廊下の清掃

協働



必要に応じてiPadに保存した作業工程表で手順や清掃のポイントを確認する。

- ・ペアで取り組み、1人はiPadで作業の様子を撮影する。

ICT機器



指針3

指針5

○改善点を話し
合う

- ・撮影した動画を見ながら作業を振り返り、改善点について話し合う。

ここで評価

【思】他者の意見を踏まえて自分の考えを広げ深めている。

終末

○本時の振り返り

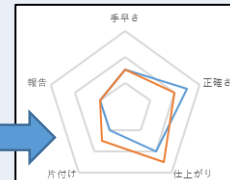
個別



評価フォームに自己評価と教師の評価を記入しグラフ化する。

クラウド

指針1



【態】レーダーチャートから自身の課題を整理し、次回の作業に目標をもつことができる。

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。

※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場면을効果的に組み合わせることが重要です。

※ 評価の観点 【知】＝知識・技能 【思】＝思考・判断・表現 【態】＝主体的に学習に取り組む態度